

地域の清掃活動で心もピカピカ クリーン洞爺

自分の住んでいる地域をきれいにしようと、洞爺地区の小、中、高生によって毎年行われている「クリーン洞爺」が、今年も9月7日実施され、約200人の児童、生徒、先生らが洞爺湖畔や地域を清掃しました。

地域の環境保全と美化を通じ児童生徒一人ひとりが、環境に関心をもってもらおうと平成8年から始めました。

洞爺高校での開会式終了後、小学生、中学生、高校生を一組にした班が1班編成され、分担された地区内のゴミ、空きカン、ペットボトルなどを拾い集めました。



湖畔の清掃に汗を流す生徒ら



手芸をしながら話に花が咲く皆さん

洞爺湖温泉の友遊クラブに参加している女性らで結成した手芸同好会(新田伸子代表)が、9月7日から1日まで、伊達信用金庫洞爺温泉支店で作品展を開きました。

作品は、古着をリサイクルして、作り上げた色鮮やかな座布団で、大小23枚を展示しました。

今年5月に手芸好きな6人が集まり、4カ月ほどの期間で完成させました。

現在は、「みなさんでお弁当を持って集まりおしゃべりするの楽しい」と週1回の会合を楽しみにしています。

洞爺湖温泉の手芸同好会 座布団の作品展開く

9月12日歴史公園内

にある先住民
族慰霊碑前で、
洞爺湖町アイヌ
民族先住民
慰霊祭(北海道
アイヌ協会
洞爺湖支部＝



厳粛に行われたカムイノミイチャルパ

妻木征男支部長)が開かれました。同支部の会員や真屋町長ら行政、教育関係者約60人参加して先祖の霊を慰めました。

カムイノミでは、同協会鶴川支部の協力を得て、祭司木下梅雄さんの進行で、先祖代々の神など14の各々の神に祈りを捧げました。

最後に「今年は、慰霊碑ができて30年になります。これからも自分が元気なうちは続けたい」と妻木支部長が挨拶し、終了しました。

アイヌ民族伝統儀式 カムイノミイチャルパ開く

洞爺ライオンズクラブ 創立50周年パーティー盛り上がる

創立50周年を迎えた洞爺ライオンズクラブ(大久保和幸会長)の記念パーティーが、9月12日ふるりの丘総合福祉館で、会員ら約180人が参加して盛大に行われました。

同クラブは、1960年に創立し、町への桜の木の寄贈、少年野球大会の主催、社会福祉金庫への寄付など、青少年の育成や地域貢献を目的に奉仕活動が続けてきました。

式典では、大久保会長が「地域に根ざした、地域に役立つ活動を今後も継続していきたい」と挨拶し、来賓からの多くの祝福を受け、50年の節目を参加者全員で祝いました。



盛大に開かれたライオンズ創立50周年パーティー

まちのわだい

